



2022年5月11日

各 位

会社名 T I S株式会社
代表者名 代表取締役社長 岡本 安史
(コード番号 3626 東証プライム市場)
問合せ先 経営管理部長 木村 高宏
(Tel. 03-5337-4569)

剰余金の配当（増配）に関するお知らせ

当社は、2022年5月11日開催の取締役会において、2022年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本件は、2022年6月24日開催予定の当社第14期定時株主総会に付議する予定です。

記

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2021年5月12日公表)	前期実績 (2021年3月期)
基準日	2022年3月31日	同左	2021年3月31日
1株当たり配当金	31円00銭	27円00銭	24円00銭
配当金総額	7,785百万円	—	6,062百万円
効力発生日	2022年6月27日	—	2021年6月25日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社は、中長期の経営視点から事業発展につなげる適正な内部留保を確保しつつ、連結業績を勘案した上で、安定した配当を継続していくことを基本方針としています。

この方針に基づき、中期経営計画（2021-2023）においては、成長投資の推進・財務健全性の確保・株主還元強化の強化のバランスのもと、資本構成の適正化を推進し、資本効率性の向上を目指す中、株主還元については、自己株式取得を含む総還元性向の目安を40%から45%に引き上げ、1株当たり配当金を継続的に充実化することで、株主の皆様とのエンゲージメントを高めていくことにしています。

2022年3月期の期末配当金については、当期の業績が計画を上回る事業成長を果たしたことを踏まえ、当初の配当予想から4円増配し、1株当たり31円とさせていただきます。これにより、1株当たり年間配当金は44円となります。また、自己株式取得4,470百万円（1,430,400株）と合わせた2022年3月期の総還元性向は39.3%となります。

なお、当社は、上述のとおり、株主の皆様への利益配分を事業成長に応じて継続的に充実化させていくためには、一時的な損益に影響されない営業活動から得られた利益をベースとして株主還元を実施することが望ましいと考えています。この考えに基づいて計算した総還元性向は43.1%となり、基本方針に沿った水準となります。

(参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金			総還元性向	配当性向
	第2四半期末	期末	年間（合計）		
当期実績 (2022年3月期)	13円00銭	31円00銭	44円00銭	39.3%	27.9%
前期実績 (2021年3月期)	11円00銭	24円00銭	35円00銭	42.8%	31.9%

以 上